



平成 21 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 東リ株式会社
代表社名 取締役社長 柏原 賢二
(コード番号 7971 東証・大証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 管理本部長
吉森 忠重
(TEL : 06-6494-6637)

新中期経営計画『変革と挑戦 2011』の概要について
(2010 年 3 月期～2012 年 3 月期)

1. 『変革と挑戦 2011』新中期 3 ヶ年の位置づけ

当社グループは、前中期経営計画「GROW UP 2008」(2007 年 3 月期～2009 年 3 月期)において、販売力の強化と技術開発のレベルアップを図るとともに、グループ経営効率の向上に努めてまいりました。

2008 年半ばに日本経済は、100 年に一度といわれる未曾有の世界同時不況に巻き込まれ、出口の見えないトンネルに突入しました。外需に支えられてきた日本経済が早期に大きな成長力を取り戻すことは容易でないと考えられ、日本企業は収益構造の抜本的な見直しを強いられております。

当社グループは、状況変化への対応力を高め、技術力と営業力をさらに進化させて、市場に新たな需要を創出することのできる商品・サービスの開発を積極的に進めることで、この激動の時代に対処してまいります。

新中期 3 ヶ年の指針

「変革を成し遂げ、『創造的進化』に向けた積極経営を推進する」

2. 『変革と挑戦 2011』の基本戦略

『変革と挑戦 2011』においては、レジデンシャル市場へのさらなる深耕を図るとともに、社会で急速に進行する環境ニーズへの対応に注力してまいります。また、中・長期視点に立ち、将来に向けての成長力を確保すべく研究開発と人材育成への投資をいっそう強め、新分野の開拓にも挑戦してまいります。

『変革と挑戦 2011』重点戦略

- I. レジデンシャル市場攻略と事業拡大
- II. 環境対応力の強化
- III. 新分野への挑戦

I. 「レジデンシャル市場攻略と事業拡大」

今後さらに拡大が見込まれるリフォーム市場も含め、住む人や住まいを供給する側の潜在的なニーズを捉えた新しい商材を開発し、売上拡大とシェアアップを図ってまいります。

II. 「環境対応力の強化」

今や事業を営む上で欠かすことのできない「環境対応」に力を注ぎ、商品やサービスの開発を通じて成長性、収益性を高めるとともに、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

III. 「新分野への挑戦」

5年・10年先を見据え、次世代に繋げる「新たな収益の柱」を育むため、明日の研究開発に注力し、技術力を生かして従来の延長線上にない事業領域の拡大にチャレンジしてまいります。

3. 『変革と挑戦 2011』における経営目標

＜2012年3月期 目標＞

連結売上高 1,000 億円

連結経常利益 30 億円

連結 ROA（総資産経常利益率）4%以上

4. 重点戦略を実現するためのインフラ強化

重点戦略を推し進めるにあたり、技術に立脚した事業基盤の強化と、販売組織および営業活動の効率向上に、徹底して取り組みます。さらに、プロモーション技術を進化させることで、グループの営業力をいっそう高めてまいります。また、キャッシュフローを重視した経営を推進するとともに、グループのCSR体制を確立させて、経営の質的向上を図ります。そして、経営基盤として特に重要な、人材の開発・育成に注力し、経営目標の達成を目指してまいります。

以 上